

# I 港区立赤坂子ども中高生プラザ青山館・学童クラブ概要

## 1、基本理念及び運営方針

### (1) 基本理念

赤坂子ども中高生プラザ青山館（以下、「青山館」という。）は、児童を権利行使の主体として捉え、港区立児童館条例及び子ども中高生プラザ条例（以下、「条例」という。）に基づき、下記の基本理念を掲げ、子どもの権利を擁護し、健やかな成長を願って事業の運営を行っています。

- ① のびのび楽しく過ごす心を持ち、ありのままの自分に力があることを自覚し、自主的に活動を進められるように支援します。
- ② じっくりと考える力が育つように働きかけ、仲間とともに協力し、自治を作っていく力を育てます。
- ③ 一人ひとりの違いを認め合いながら、人間として温かな心を育むよう支援します。
- ④ 生き生きと健康な身体を作ることを働きかけ、児童の体力増進のための活動を進めます。
- ⑤ 中高生が心地よく過ごせる居場所となるよう環境を整え、支援するとともに、自主的に文化、芸術、スポーツ活動の向上を図れるよう、活動を進めます。
- ⑥ 地域の乳幼児や小学生と子育て中の保護者が、主体的に、生き生きと安心して過ごせる場を作ります。
- ⑦ 学童クラブの子どもたちが生活の場として安心して過ごし、個々の力を伸ばせるよう働きかけます。
- ⑧ 地域との連携を深め、協力、交流を行うための組織を作り、活動を進めていきます。
- ⑨ 児童に関わる情報収集に努め、発信、提供の場になれるようにします。

### (2) 全体の運営方針

- ① 来館者一人ひとりのベスト・インタレスト（最善の利益）を出発点とした運営を行います。
- ② 地域をステージとした多様な活動に参加できるように、拠点施設としての運営を行います。
- ③ 児童が友情を育み、仲間と集える「居場所」を共に作っていく運営を行います。
- ④ 障害のあるなしに関わらず、だれもが自分らしい選択で活動できるノーマライゼーションの考えに基づく運営を行います。
- ⑤ すべての児童・保護者等が性別にとらわれず、自分らしく豊かに生きることのできるよう男女平等参画の視点から運営を行います。
- ⑥ 子育て中の家庭を支援し、親も成長できるように、共生の視点から運営を行います。
- ⑦ 赤坂子ども中高生プラザとの交流を深める運営を行います。
- ⑧ ボランティアの育成に努め、社会参加への機会となる運営を行います。
- ⑨ 利用者の個人情報保護の適正化に取り組むとともに、職員の倫理綱領に基づく行動規範を遵守し、サービスの質の充実を図ります。
- ⑩ 地域に信頼され、親しまれる施設、より一層賑わいのある施設を目指します。
- ⑪ 令和2年度は、青山館を利用される児童・保護者や地域の方々との交流を深められるよう活動を企画・運営します。

### (3) 具体的な方針

条例に基づき、児童が心身ともに健やかに成長し、豊かな情操を育むようにするため、児童館としての役割を果たしつつ、「地域とともに育つ」という視点から、開かれた施設づくりを進めます。

この観点により、乳幼児から18歳未満の児童の心よりどころとなり、かつ“居場所”として、児童の体力増進、文化・芸術活動の拠点になるよう、企画運営を行っていきます。

また令和2年度は、青山館を利用される方々との交流を深めることを念頭においた活動の実現・強化を重点目標として掲げ、活動を行います。

#### ① 地域とともに育ち、信頼される施設を目指し、開かれた施設づくりを推進します。

- ・ 青山館を利用される児童、保護者、地域の方々との交流を深めます。
- ・ 児童が安全に、安心して過ごせる施設運営を行います。
- ・ 児童の遊びや体力増進、文化・芸術の拠点となるような企画と運営を目指します。
- ・ 児童を優先しつつ、地域のニーズに柔軟に応えられるよう、開かれた施設運営を行います。
- ・ 児童に関する関係機関、とりわけ近隣の機関等と連携し、有機的なネットワークを構築します。
- ・ 学童クラブにおいては、児童の健全育成に十分配慮し、更に充実した運営を目指します。
- ・ 港区の「子どもの未来応援施策」実現に向け、中高生の居場所機能を充実させるよう取り組みます。

#### ② いろいろなニーズを持った児童が参加しやすいように、常に利用者の状況を把握し、自主的な活動を支援し、ともに行動しながら、交流する喜びや満足を感じられるような活動内容を提供します。

- ・ 引継ぎを受けた事業等については、継承し青山館仕様に更新をして実施します。
- ・ 職員の専門性を高め、質の高いサービスを提供します。
- ・ 中高生に対しては、地域等の協力も得ながら、本物の文化、芸術、スポーツなどの素晴らしさを伝えられるような活動を展開していきます。
- ・ 児童が自主的に参加できる場所として、児童の欲求を敏感に捉えながら、自主的な活動を進められるよう、配慮をしていきます。
- ・ 特別な支援が必要とされる児童の夏季休業日等の受け入れに、適切に対応し支援します。

#### ③ 赤坂子ども中高生プラザとの交流を大切にします。

- ・ 赤坂子ども中高生プラザを利用される方々と、プラザ・青山館の交流ができるような活動を企画します。

## 2. 利用日時

### (1) 赤坂子ども中高生プラザ青山館

条例等に基づき、次のとおり行いました。

【時間】 午前9時30分から午後8時

(小学生の利用は、ひとりで帰れる時間を考慮し、「午後6時まで」を推奨)

障害児夏季休業日等支援事業による受入れ拡大 午前8時から

乳幼児室(子育て広場事業) 午前10時から午後6時

※新型コロナウイルス感染症対策のため、各部屋の面積に合わせ、利用定員数を定め、平日は学童クラブ事業を運営のため、小学生のみ一般利用児童10名の利用枠とし、予約を受けた利用としました。土曜日・日曜日については、予約利用は行いませんでした。

※港区民は前日から、港区民以外は当日の利用予約申し込みを受け付けました。

※乳幼児室の利用は、新型コロナウイルス感染症対策のため、A・10:00～11:50、B・13:30～15:20C・16:00～17:50の3区分に分け、事前予約および各時間5組のみの利用としました。

【曜日】 月曜日から日曜日

ただし、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始の12月29日から31日及び1月2・3日は休館。

なお、12月29、30日については、「年末施設開放」として午前9時30分から午後5時までの間、開館(施設開放)

(令和2年度 子ども家庭課より港区内全館統一開館時間とされました。)

※4月～6月の間は、新型コロナウイルス感染症対策のため、一般利用は休館となり、学童クラブのみの運営となりました。

### (2) 学童クラブ

港区学童クラブ運営要綱に基づき、利用日及び時間について、次のとおり行いました。

① 月曜日から金曜日 下校時から午後7時

土曜日 午前8時から午後5時

② 学校休業期間中 午前8時から午後7時(但し、土曜日は午後5時、日曜日は休室)

## II 運営管理

### 1. 職員組織体制

## 2. 職員体制

### (1) 指定管理提案時の配置数

区分	館長	副館長	事務員	児童指導員			その他	合計
				プラザ	学童クラブ	子育て広場		
正規・常勤	1	1		4	3	1		10
非正規	常勤		1	2	2	1		6
	非常勤			1	1			2
計	1	1	1	7	6	2		18

### (2) 令和3年3月31日時点の職員配置数

区分	館長	副館長	事務員	児童指導員			その他	合計
				プラザ	学童クラブ	子育て広場		
正規・常勤	1	1		3	3	1		9
非正規	常勤			4	2			6
	非常勤		2	7	1	2		12
計	1	1	2	14	6	3		27

## 3. 職員研修

運営方針を具体化し、一人ひとりの利用者のニーズに対応した専門的サービスを提供するため、日常的に職員の資質向上を図る研修を行った。

このため、法人の職員研修計画に基づく研修のほか、他の児童施設とも連携しながら教育研修を行うなど、計画的に人材育成を進めてきました。

### (1) 施設内研修（本館との連携研修含）

実施一覧

月	日	内容	講師	参加者数
12	9	不審者対応訓練 ※	赤坂警察署職員	6名
10	20	救命講習 ※	赤坂消防署職員	8名
9	16	救急法について ※	港区立青山保育園看護師 原田氏	12名
10	6	感染症、嘔吐時の対応について	職員講師 移川	12名
11	17	子ども家庭支援センターの役割と連携 ※	港区子ども家庭支援センター相談支援係 堺氏	10名
12	2	巡回指導（要支援児童支援）	公益社団法人発達協会 本間氏	18名
12	22	港区の障害児支援について ※	港区障害者福祉課障害者支援係 篠塚氏	13名

※本館職員参加研修

## (2) 外部研修

下記の機関・団体が主催する研修に職員を派遣し、職員の経験、知識や技術の程度・段階に応じた研修を受講させることにより資質の向上を図るとともに、資格取得などの支援や他施設の見学などを行いました。

### ①港区主催研修

月	日	内容	講師	参加者数
8	1	児童館・学童クラブの障害児の在り方障害のある子どもの関わりのコツとスタンバイしよう●	東京都立矢口特別支援学校 川上 康則 氏	2名
8	4	港区要保護児童対策地域協議会 研修 第2回「虐待に関連した知見に基づいた対応方法」◇	小平 雅基 氏	1名
9	4	港区要保護児童対策地域協議会 研修 第3回「DVと児童虐待の関係」◇	愛育クリニック小児精神保健科医長 細金 奈奈 氏	1名
10	9	実技研修「紙芝居の魅力をさぐる」●	和洋女子大学 荒木 文子 氏	5名
10	15	子どものSOS対応研修 ○	児童精神科医 三木 崇弘 氏	2名
11	12	実技研修 「わくわく造形ワークショップ」●	有明教育芸術短期大学 有福 一昭 氏	2名
12	11	児童館におけるアンガーマネージメント●	白金タカナワクリニック 小林 未果 氏	2名
1	29	港区における子ども子育て支援施策について●	子ども家庭課 野上 宏 課長	4名

●館長会主催研修 ○みなと保健所主催研修 ◇子ども家庭支援センター主催研修

### ②東京都福祉保健局少子社会対策部家庭支援課主催研修

月	日	内容	参加者数
6	30	東京都児童館等職員研修 リーダー研修 「児童館ガイドラインから児童館運営について考える」	1名
7	10	東京都児童館等書職員研修 中堅児童厚生員等テーマ別研修 第1回「児童館でしかできない子どもの主体性をいかした参画」	2名
7 9	14 3	東京都児童館等職員研修 児童厚生員等基礎研修 第1クール	2名
7 9	17 4	東京都児童館等職員研修 児童厚生員等基礎研修 第2クール	2名
9	3,4,7,8	東京都放課後児童支援員認定資格研修 第3クール	1名
3	9~12	東京都放課後児童支援員認定資格研修 第7クール	1名

#### 4. 防災計画

##### 防災訓練実施報告

月	種類	内 容	備考
4	図上訓練 ビデオ研修	・ 防災ビデオの上映と意見交換	中止
5	通報訓練	・ 緊急災害、救急要請時の通報訓練	中止
6	講習会への派遣	・ 防災研修、救命講習会への派遣	中止
7	消火訓練	・ 消火器、消火散水栓の使用実施訓練	中止
8	職員防災訓練 通報訓練	・ 館内設備の確認、図上訓練 ・ 緊急災害、救急要請時の通報訓練	防災センター
9	避難・通報訓練	・ 緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	火災時想定
10	AED等訓練 避難・通報訓練	・ 職員研修 ・ 緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	消防署指導 大地震想定
11	避難・通報訓練	・ 緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	火災時想定
12	不審者対応訓練 避難・通報訓練	・ 職員研修 ・ 緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	警察署指導 大地震想定
1	避難訓練 不審者対応訓練	・ 緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練 ・ 職員研修	火災時想定
2	避難・通報訓練	・ 緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	大震災時想定
3	避難・通報訓練	・ 緊急災害、救急要請時の通報訓練、避難誘導訓練	地震発生時想定
<p>《その他実施事項》</p> <p>① 日常における操作訓練（スプリンクラー、非常通報装置、火災報知機、初期消火体制等）</p> <p>② 上級救急救命講習への参加</p> <p>③ 職員参集等のためのメール送受信訓練を年1回実施</p> <p>④ 災害時防災協定の継続</p>			

## Ⅲ 港区立赤坂子ども中高生プラザ青山館運営事業

### 1、令和2年度 運営方針・指導の重点（学童クラブ共通）

#### （1）年度運営方針

令和2年度は、旧青山児童館から赤坂子ども中高生プラザ青山館へと運営が変わったことから、青山館を利用される児童・保護者や地域の方々との交流を深められるよう活動を企画・運営を行いました。

#### （2）指導の重点

- ① 児童から、青山館に「また遊びに来たい！」と思われるよう、職員との関係づくり、企画運営
- ② 青山館が、青山地区の拠点として、「青山館に来れば、安心して過ごすことができる、心のホッとステーション」となるような指導・支援
- ③ 青山館の開館時間が20時までとなり、中高生ルームが設置されることから、中高生世代への利用拡大を目指した活動の実施
- ④ 赤坂子ども中高生プラザ本館との連携した行事を計画、実施

#### （3）主な取組

- ① ローラーホッケー、オペレッタ、クッキング（中止）の活動を継続
- ② カッパ伝説を青山探検隊（カリッパ）として実施
- ③ 青山館カリッパ子どもまつりの実施
- ④ 中高生を対象とした活動の本館分館連携

### 2. 令和2年度 本館・分館との連携活動

#### （1）連携事業の主な取組

- ①利用者を対象とした主な取組

ア、年間行事 ※港区の指導により新型コロナウイルス感染症対策のため、中止

月	事業名	対象区分			内容	参加人数
		乳幼児	小学生	中高生		
8	低学年バスハイク		○		バスを使用して外出を楽しむ行事	中止
	高学年バスハイク (高学年キャンプ)		○		バスを使用して外出を楽しむ行事	中止
	中高生バスハイク (よるで〜も)			○	バスを使用して外出し、宿泊を伴う行事	中止
9	乳幼児バスハイク	○			バスを使用して外出を楽しむ行事	中止

2	中学生音楽表現 発表会			○	中学生による音楽表現活動発表会	中止
---	----------------	--	--	---	-----------------	----

#### イ、日常活動

対象	事業名	内容	参加人数
小学生	e-スポーツ大会	インターネットを利用したテレビゲーム交流試合	8名
小学生	卓球交歓大会	本館の卓球クラブとの練習試合	中止
小学生	プラザ対抗卓球大会	本館および他プラザとの卓球交流試合	中止
小学生	ドッジボール交歓試合	港区ドッジボール大会に向けた、本館との練習試合	中止
中高生	館内宿泊 まなび舎 in なんで～も	本館において中高生の宿泊交流	中止
中高生	スタジオレッスン	講師によるダンス、ボイスレッスンを実施した後、参加者同士の交流	中止
乳幼児	たんぽぽクラブクリスマス会	民生児童委員の方々のご協力による合同クリスマス会	中止

## (2) 職員による取組

### ア、事業運営連携

活動名	内容	回数	構成
ムジカディバンビーノ クラブ	本館において実施している小学生対象の音楽クラブに分館職員が運営に参画	週1回 実施	担当職員
バンド機材使用法講習	分館のバンド活動において使用する機材の使用法等の研修講師として本館職員が実施	3回 実施	スタジオ担当 職員
ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム(NPプログラム) (中止)	子育て中の親のグループワーク(親支援プログラム)のファシリテーターとして、本館職員と分館職員が実施	開催時	ファシリテーター所持職員

### イ、事業連携のためのミーティング

会議名等	内容	回数	構成
プラザ・青山館連絡会	本館・分館内の運営について等の連絡調整を行います。	月1回 実施	管理職 指導職
行事連絡会(中止)	本館・分館連携行事についての連絡調整を行います。	随時	担当職員
職員研修会	救急対応、港区の子育て支援施策について、赤坂警察署指導による防犯訓練、赤坂消防署指導による救急訓練等を実施	4回	本館・分館 職員



### ③施設・設備を利用した主な取組

#### ●屋外運動場利用（中止）

分館にはローラーホッケー場として使用する屋外運動場が設置してあることから、本館利用児童へローラーホッケーの参加を呼びかけの予定をしていたが、公共交通機関を利用した施設間交流を港区の指導により「中止」をしていたため、利用の呼びかけを行わなかった。

#### ●陶芸作品の窯入れ

本館クラフトルーム内に、陶芸用窯が設置されていることから、分館において実施した陶芸教室の作品の窯入れを依頼。

## （3）総括

新型コロナウイルス感染症対策のため、港区の指導により、利用者に施設間移動を伴う交流は、中止となった。そのため、インターネットを利用した交流「eスポーツ大会」を実施し、本館との連携行事をおこなった。

職員間による交流として、本館活動に青山館の職員の定期的に派遣、青山館における職員研修会へ本館職員が参加、それぞれの「祭り」等の大規模行事に職員を派遣する等、職員間の連携は、実施することができた。また、青山館において実施した「陶芸教室」の作品を、本館陶芸窯で焼き上げるなどの連携も実施することができた。

## 3. 児童館事業

### （1）小学生対象の事業

#### 定期活動

部屋	活動	実施回数	内容	参加人数
集会室	カリッパシアター	中止	大画面で映画、アニメ鑑賞します。	—
	ゲーム大会	5回	トランプ、すき焼きジャンケン、福笑い、Eスポーツなどをして技を競いました。	51名
図書室	ローマ字検定	中止	PCを使ってタイピングを学びます。	—
	絵本の読み聞かせ会 ストーリーテラーズ	4回	職員やボランティアによるおはなし会を行いました。	26名
	ペーパークラフト	1回	パソコンを使った工作をおこなった。	9名

	月間企画	4回	パソコン講習会、クイズ大会、脱出ゲーム等の活動を行いました。	33名
工作室	陶芸教室	1回	陶芸家の指導の下、皿や器を作りました。	14名
	カリッパクッキング	中止	簡単にできる調理活動を行いました。 (港区の指導により調理活動は中止)	—
	月間企画	29回	工作など創作活動(スライムづくり、うちわづくり、スクラッチアート、小物づくりおまつり工作、ミニ帽子づくり等)を行いました。	345名
遊戯室	ドッジボール	中止	港区ドッジボール選手権の優勝を目指した練習会	—
	遊戯室シアター	1回	カリッパシアターとは雰囲気を変え、テーマを決めて映画を鑑賞しました。	14名
	月間企画	8回	集団遊びやボール遊びとして(紙飛行機大会、ポッチャ大会、ミニミニうんどうかい、小物づくり抽選会等)を行いました。	79名
屋外運動場	ローラーホッケー	中止	港区や東京都の大会で優勝を目指した練習会	—
	ローラースケート	9回	小学生を対象に屋外運動場でローラースケートを行いました。	72名
	月間企画	8回	集団遊びやボール遊び(長縄、ミニミニドッジボール、フットサル等)を行いました。	95名
その他	伝承遊び	59回	各部屋において、昔ながらの伝承遊び(酒ふた、めんこ、竹馬、ハンカチ落とし等)を楽しみました。	389名
	ローラーディ	34回	屋外運動場でローラースケートを楽しみました。	368名

## (2) 中高生対象の事業(中高生居場所づくり事業)

### 定期活動

部屋	活動	実施回数	内容	参加人数
集会室	AO-Cafe	中止	異学校、異学年の中高生と青山館職員等とが、菓子類や飲料を食べながら語り合い交流する「しゃべり場」 (港区の指導により調理活動は中止)	—
集会室	AO-Game	3回	異学校、異学年の中高生と青山館職員等とがゲームをしながら語り合い交流をしました。	3名

図書室	学習タイム	中止	勉強コーナーを設置し、自主学習の場の提供	—
工作室	AO—Cook	中止	異学校、異学年の中高生と青山館職員等とが、軽食を調理し食しながら語り合い交流をする「しゃべり場」(港区の指導により調理活動は中止)	—
遊戯室	AO—Spo	2回	異学校、異学年の中高生と青山館職員等とでスポーツ交流をしました。	3名
中高生 ルーム	AO—Talk	23回	異学校、異学年の中高生と青山館職員等とが語り合い交流をしました。	21名

### 特別活動

部屋	活動	実施回数	内容	参加人数
集会室	AO-Move	1回	映画等の上映会	0名
図書室	中高生企画	中止	パソコンを使った製作活動	—
遊戯室	ダンスレッスン	中止	講師によるダンス指導	—
中高生 ルーム	予約会議	中止	スタジオ利用に関する次月の予約、連絡調整、バンド交流	—
	楽器体験会	8回	ギター、ベース、ドラム、カホン等様々な種類の楽器の体験の場を提供しました。	8名
	バンド総会	中止	バンド同士の交流、より良く利用するための会議	—
	バンドレッスン	中止	講師による演奏指導	—
	曲作り	1回	中高生ルームで曲作りをしました。	0名
	ボードゲームカップ	1回	中高生ルームでボードゲームを行いました。	5名
その他	館内宿泊	中止	長期休業期間中の宿泊を伴った自主学習支援企画、大学生ボランティア等による学習支援	—
	カリッパを探せ かくれんぼ	1回	青山館内でかくれんぼをして交流を深めます。	0名

### (3) 全年齢対象の事業

#### 特別活動

部屋	活動	実施回数	内容	参加人数
集会室	リクエストシアター	中止	映画等の上映会	—
工作室	調理活動クッキング	中止	ランチ作り・おやつ作りなど ※乳幼児を除く。 (港区の指導により調理活動は中止)	—
遊戯室	卓球タイム	16回	小・中・高校生と保護者を対象に、遊戯室で卓球を行いました。	91名

## 4. 子育て広場事業

### (1) 「乳幼児と保護者」対象の事業

#### 定期活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
24回	りすさんグループ はいはい・よちよちクラス 0歳児クラス	・手遊び、音楽遊び、工作、 読み聞かせ、ふれあい遊び、 運動遊び、食育など	H31.4.2 生まれ以降の 乳幼児・保護者	347名
24回	りすさんグループ ねんねクラス 0歳児クラス	・1年を通して参加できる登 録者には、出欠ファイルを配 布。		62名
25回	こぐまさんグループ 2歳児クラス	・手遊び、音楽遊び、工作、 読み聞かせ、ふれあい遊び、9 運動遊び、食育など ・登録制で25名定員。	H29.4.2～ H30.4.1 生ま れの 乳幼児・保護者	276名
28回	うさぎさんグループ 1歳児クラス	・手遊び、音楽遊び、工作、 読み聞かせ、ふれあい遊び、 運動遊び、食育など	H30.4.2～ H31.4.1 生ま れの 乳幼児・保護者	254名
8階	カリッパであそぼ 1, 2, 3	楽器遊び、歌遊び、リトミック など音楽を主体とした活動	乳幼児・保護者	120名
28回	わいわいクラブ	アスレチック、リズム体操、 かけっこ、集団遊び、ふれあ い遊びなど	幼児(2歳～5 歳程度)・保護 者	311名
9回	アトリエカリッパ	幼稚園児対象で、講師を招いた 造形・絵画活動	幼稚園児・ 保護者	70名

124回	カリッパタイム	幼児向けのダンスや読み聞かせ等	乳幼児・保護者	354名
中止	各グループ活動内「水遊び」	「屋外運動場」での水遊び	乳幼児・保護者	—

### 特別活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
2回	みなと保健所との連携事業	歯科衛生士、環境衛生士の講話等	乳幼児・保護者	16名
中止	講師による企画	骨盤リセットヨガ、リトミック、ベビーマッサージ、英語で遊ぼう等	乳幼児・保護者	—
9回	グループ活動体験会	乳幼児で行うグループ活動を体験する行事	乳幼児・保護者	52名
1回	夏祭り	乳幼児対象の夏祭りを楽しむ行事	乳幼児・保護者	68名
1回	クリスマスパーティー	乳幼児対象のクリスマス会を楽しむ行事 【年間行事】	乳幼児・保護者	36名
1回	サタデークリスマス	土曜日にしか来館出来ない乳幼児対象のクリスマス会を楽しむ行事	乳幼児・保護者	14名
6回	コンビカータイム	遊戯室でコンビカーに乗って遊べる行事	乳幼児・保護者	32名

## (2) 保護者対象の事業

### 定期活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
中止	子育て支援 保護者対象企画	製作活動、スポーツ、調理等	青山館を利用している 乳幼児の保護者	—

### 特別活動

実施回数	活動	内容	対象	参加人数
中止	子育て講話	講演会、グループ討論会	乳幼児の保護者	—
中止	ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム	子育て中の親のグループワーク (親支援プログラム)	乳幼児の保護者 (母親)	—

中止	消防署との連携事業	乳児の救命救急講習会	乳児の保護者	—
----	-----------	------------	--------	---

## 5. 「年間行事」

### (1) 行事計画に基づく行事

月	乳幼児	小学生	中高生	内容	参加人数
4		おめでとう Welcome カリッパ		小・中・高の新一年生に対して、ローラースケート、スタプラリー、スライム作り、一輪車等、祝福・歓迎する行事クラブ活動の紹介を行った	57名
6		あきる野里山体験		あきる野市の自然に触れ環境学習を行う行事	中止
7		七夕会		季節の伝統行事を楽しむ行事	中止
8		低学年 バスハイク		バスを使用して外出を楽しむ行事【本館連携】	中止
		高学年 バスハイク		バスを使用して外出を楽しむ行事【本館連携】	中止
			中高生 バスハイク	バスを使用して外出を楽しむ行事【本館連携】	中止
		プラネタリウム		館内で移動式プラネタリウムを楽しむ行事	中止
9	乳幼児 バスハイク			乳幼児とその保護者を対象に、バスを使用して外出を楽しむ行事【本館連携】	中止
10		ドッジ ボール 大会		港区の児童館が集まって、ドッジボール大会を行う行事	中止
		みなと区民まつり		芝公園において、工作ブースへの出店協力、及び当館での児童の活動発表を行う行事	中止
11		カリッパミニミニ子どもまつり		ゲームコーナー、模擬店などを楽しむ行事	161名
		共育フェスティバル		赤坂・青山地区協働行事に参加し、工作ブースの出店、当館活動の発表を行う	オンライン動画で参加
12		カリッパ クリスマスパーティー		クリスマス会を楽しむ行事を行った	85名
			児童館交流会	港区の児童館が集まって、活動の成果を発表する行事	中止
1		新年子ども会		新年を祝い、お正月遊びを楽しむ行事として、かるた大会、羽根つき記録会を行った	25名

2		中高生音楽 表現発表会	中高生による音楽表現活動（バンド・ダンス） の発表を行う行事【本館連携】	中止
3	カリッパ卒業おめでとう会		小・中・高を卒業する子どもたちの成長を祝福 する行事	53名

## (2) 連携行事

月	乳幼児	小学生	中高生	保護者	連携機関	参加人数
5月 9月		交通安全教室			赤坂警察署（スクールサポーター）	中止
7月		ローラー ホッケー 大会				中止
8月					赤坂、港南、高輪、神明、麻布、 青山の6施設	中止
10月		港区児童館 ドッジボール 選手権大会			港区内の12児童館・プラザ	中止
11月 3月		火災予防講話			赤坂消防署	中止
11月		赤坂・青山 <sup>ともい</sup> 共育フェスティバル（檜町公園）			赤坂・青山共育情報局 赤坂地区総合支所協働推進課	オンライン 動画で参加
12月		港区児童館交流会			港区内の12児童館、プラザ	中止
2月		プラザ交流大会（卓球）			赤坂、高輪、麻布、青山4施設 （予定）	中止
3月		ローラー ホッケー 大会				不参加

## 6. クラブ・サークル活動

児童の興味、関心をもとに、学校・年齢を超えたグループによる継続的な活動を目的としました。

- ① 子どもたちによる主体的な活動や運営、興味・関心の深まり、仲間意識の芽生えと深化、専門技術の向上などの支援。
- ② 随時、活動報告などの情報公開及び新規メンバーへの呼びかけを行い、子どもたちの輪を広める。
- ① 活動の成果を発表する場を設け、幅広い自主活動の支援。
- ② 既存のクラブ以外に、グループによる継続的な活動のニーズが出た場合、サークル活動として活動の支援を検討し、実施に向けたサポート。

### 【令和2年度クラブ活動クラブ】

実施回数	クラブ名	講師指導	内容	参加人数	対象
中止	ドッジボール	×	ドッジボールを楽しむ	0名	小学生～中高生

中止	ローラーホッケー	○	ローラースケートでホッケーを楽しむ	—	小学生～中高生
12回	オペレッタ	○	音楽劇を楽しむ	79名	小学生～中高生
中止	クッキング	×	料理活動をする (港区の指導により調理活動は中止)	—	小学生～中高生
21回	卓球	○	卓球を楽しむ	132名	小学生～中高生
26回	ダンス	○	ダンスを楽しむ	181名	小学生～中高生

## 7. 相談活動

青山館には、相談室が設置されることから、児童や保護者が各々抱えている悩み等を気軽に相談できるよう、相談担当職員を選任し、日常的に相談を受け付ける体制を作りました。

また、子育て相談に関して、相談会を開き、相談しやすい環境を整備を計画しました。

職員は、相談を受ける中で児童や保護者の抱える悩みや問題を受け止め、寄り添い、共に考え、問題の解決に向けて支援し虐待などの発見や予防にも留意するとともに、必要に応じ学校や専門機関と連携し、問題解決に取り組むことを目的としました。

このほか、子育ての悩みから中学生・高校生の思春期の悩みといった多様な相談に対応できるよう、職員の資質の向上に努めました。

令和2年度については、子ども家庭支援センター等の専門機関へと連携を要する相談はありませんでした。

【主な相談件数 3件】

種別	主な相談内容	対象
来館	・友人との関係について	高校生女子
来館	・来館児童（小学生）と保護者（母親）との関係性について	保護者（母親）
来館	・小学校における、我が子と友人との関係性について	保護者（母親）

## 8. 子ども・保護者委員会

子どもの視点、利用者の立場に立って運営に取り組むため、子どもが気軽に参加し発言できる懇談会を開催しました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
中止	本音で語ろう会 (キッズ・保護者)	楽しかったことや、やってほしいこと、館への要望などを自由に話し合った	—	乳幼児～保護者
7回	カリッパ 小学生委員会	館内のルールや企画などを発案し、実現できるよう小学生同士で話し合った	22名	小学生



9回	カリッパ 中高生委員会	青山館の運営に関する話し合い、 活動内容の検討をした	17名	中高生
----	----------------	-------------------------------	-----	-----

## 9. 国際交流活動

港区内に大使館や外国企業が多く存在するという環境にあることから、児童が広く海外に目を向け、理解を深め、さまざまな国の人たちとの交流ができるようにすることを目的としました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
中止	世界の料理	外国の食文化について知る (食育事業と連携) (港区の指導により調理活動は中止)	—	小学生～中高生
1回	世界を学ぶ	ドイツについての紹介を館内に掲示し、 クイズを実施	多数	小学生～中高生

## 10. 高齢者施設等との交流

近隣の高齢者施設等に訪問し、世代間交流ができるよう支援して、高齢者を身近な存在と感じ、敬いや思いやりの気持ちを育むことを目的としました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、港区の指導のもと、施設間移動を伴う活動は中止とした。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
中止	高齢者施設訪問等	近隣の高齢者施設を訪問し、 ふれあい交流を行う。	—	乳幼児～中高生
中止	交流タイム	都営住宅にお住まいの方々との ふれあい交流	—	乳幼児～中高生 都営住宅住民

## 11. 地域や旧青山児童館の歴史文化にふれる活動

地域と結びついた児童の健全な育成を図るために、地域と積極的に交流し、地域に開かれた施設を目的としました。

- ① 地域の代表による「地域懇談会」を実施しました。(書面開催)
- ② 学校や警察、民生・児童委員、青少年委員など子どもに関する地域の関係者・関係機関と日常的に連携、協力依頼をしました。
- ③ 地域の方々に青山館の行事などへの参加を呼びかけました。
- ④ 地域固有の歴史や文化を理解し、地域に対する興味・関心を深める活動を行いました。
- ⑥ 青山地域の歴史を学び、児童が地域を愛し、誇りを持てるよう支援しました。
- ⑦ 旧青山児童館において実施していた、カップ伝説「カリッパ」事業を継続して実施しました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
1回	地域懇談会	青山館の事業運営について、来館者数等の報告(書面開催)	46名に 配布	地域の方々

6回	青山探検隊 (カリッパ)	カリッパ伝説 (2回)	18名	小学生
		善光寺の鐘の歴史を学んだ	10名	小学生～中高生 保護者
		「ののあおやま」を訪問し、昆虫採取や鳥のおうちづくりを実施、光アートを作って飾った (青山まちづくり協議会協力)	35名	小学生 乳幼児とその保護者 (祖父母も含む)

## 12. ボランティア活動

地域に根ざした児童館を目指すため、ボランティア担当を配置して、児童のボランティア精神を育み、積極的にボランティア活動を目的としました。青山児童館から継続し、青山学院大学生のボランティアサークルの受け入れを行いました。

また、利用者に港区社会福祉協議会発行のボランティア情報誌の提供等、ボランティアに関する情報提供をしました。

- ① 児童が「地域の一員である」という意識を高めるよう支援しました。
- ② 積極的にボランティアを受け入れ、開かれた施設づくりを目指しました。
- ③ ボランティアの方々の知識や経験、技能などを活用して、ボランティアとの交流により、子どもたちの世界を広げる機会を提供しました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
中止	チャレンジ戦隊！ ボラレンジャー	港区ボランティアセンター「かんがり」事業（暑中見舞い、年賀はがき等）への協力や、地域の清掃などのボランティア活動	—	乳幼児～中高生
6回	それ行け 青山子ども会	青山学院大学・ボランティアサークル「青山子ども会」「トライアングル」の大学生によるボランティア活動	19名	乳幼児～中高生
1回	夢対話	工作室で夢を絵にして夢を語った	4名	小学生

## 13. 食育活動

「食」に関する知識を育成するため、食育活動を行います。また児童自らが自分の健康を守り、健全で豊かな食生活を送れ、「食事の管理能力」を育成することを目的としました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、港区指導のもと、調理を伴う食育活動は中止しました。

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
中止	調理活動	季節の料理等の調理企画	—	乳幼児～保護者
中止	講師活動	講師による調理等の企画	—	乳幼児～保護者

## 14. その他の活動

### (1) 利用者のアンケート及び意見広聴

青山館では、乳幼児室、図書室に意見箱を設置し、広く利用者からの自由な意見を募りました。

児童からは、漫画の購入要望や、遊具の購入等の要望が寄せられ、要望が多いものや職員で協議し、購入等の整備をいたしました。

乳幼児の保護者からは、自動販売機の設置希望、給水機の使用開始、土日のキッズ活動プログラムの実施等が寄せられました。新型コロナウイルス感染症対策および港区の指導により、館内での水分補給以外の飲食は禁止となっていること等を説明し、ご理解を求めました。また、土日のキッズ活動プログラムについては、サタデークリスマス会を開催するなど、工夫をして実施をいたしました。

活動・企画によって、参加者にアンケートをとり、事業運営に取り入れるようにしました。

### (2) 苦情対応

令和2年度、特段の利用者からの苦情の申し出はありませんでした。

また、苦情があった場合には、真摯に受け止め、赤坂地区総合支所管理課とも報告・相談をするなど、改善すべきことは、早急に改善策を講じていくこととしています。

### (3) 広報活動

ア 青山館「カリッパ」

毎月発行をしている、青山館のお知らせで、乳幼児版、小学生版、中高生版の3種で各月の行事や企画、青山館からのお願い等を掲載しています。青山館の受付窓口にて配布をしたほか、学校・保育園・幼稚園・地域の自治会長・民生児童委員の方等への配布を行いました。

また、本館である「なんで～も」のおしらせ「ステーション」も、受付窓口にて配布いたしました。

イ ホームページ

青山館独自のホームページにより、随時、広報活動を行いました。ホームページには、施設の概要や「カリッパ」、新型コロナウイルス感染症対策等の最新情報や緊急連絡事項を掲載し、幅広い対象に青山館をPRいたしました。

また、本館「なんで～も」で実施しているFACEBOOKのページも開設しており、青山館のカリッパや行事等の報告をいたしました。

ウ 『元気です』

社会福祉法人東京聖労院の広報誌として、年3回発行いたしました。青山館で行われた行事の報告等も掲載いたしました。

### (4) おもちゃの病院

港区の事業として、青山館では年4回(3カ月に1回)、専門のドクターが来館し、利用者のおもちゃを修理していただくことを予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、令和2年度は中止となりました。

### (5) 学校等との連携

地域の公立小中学校、保育園、幼稚園、放課GO→クラブあおやま、せいなん等と、情報交換を必要に応じて行いました。

また、参加ができる「学校公開」等にも積極的に参加をし、日頃のコミュニケーションや児童理解に努めました。

このほか、北青山まちづくり協議会とも連携をし、共催行事を開催するなど地域との連携を積極的に行いました。

## IV 学童クラブ（放課後児童健全育成事業）

### 1. 学童クラブ事業

#### （1）運営方針

学童クラブは、放課後、保護を必要とする児童にとって心のよりどころとなり、安心して過ごせる生活の場となるとともに、友達との交流やさまざまな遊びを通して児童の可能性を広げ、成長発達に向けて一人ひとりへの細やかな配慮と働きかけを行いつつ、運営を行いました。

#### （2）子どもとの関わり

子どもたちがのびのびと生活し、安心して過ごせる場となるよう、職員との信頼関係の構築や環境整備を行っていきます。また、子ども同士も、お互いが楽しく気持ちよく過ごせるよう、相手を思いやる気持ちを育てるなど、集団生活に必要な成長を促していくよう配慮した運営を行いました。

【対象：学童クラブ在籍児童】

実施回数	活動	内容	参加人数
多数	グループ活動	ののもりや北青山児童公園に、異年齢交流として外遊びを行いました。	多数
12回	誕生会	誕生月の児童に関するクイズを出し、事前にリクエストを聞き、おやつを提供しました。	405名
中止	新入生歓迎会	集団ゲームを楽しみ、友だち作りのきっかけとしました。	—
2回	外出行事	感染症対策により公共交通機関が利用できないため、遠足として近くの公園へ外出しました。	59名
3回	ランチパーティー	感染症対策により、手作りではなく市販のお弁当を購入して、学童クラブ室でランチを楽しみました。	141名
1回	年末お楽しみ会	年末にビンゴ等のレクリエーションを行いました。	28名
中止	お祝いパーティー	卒業や進級を祝う会を開く。	—

### (3) 家庭との連絡と相談活動

連絡帳や個人面談を通してそれぞれの児童の様子を伝え合い、保護者との信頼、協力関係を築いて、個々の状況や問題に関して、ともに考え対応しました。

また、保護者会や親子行事も開催し、同じ環境で子育てをしている保護者同士が交流し合える場を設けるとともに、職員と保護者が協力して子どもを育てるという視点から、一緒に児童の成長を見守っていくという姿勢を基本にし、児童の健全育成を目指す立場に立って、必要に応じて専門機関とも連携し、問題の解決を図りました。

【対象：学童クラブ在籍児童の保護者】

実施回数	活動	内容	参加人数
1回	個人面談	保護者との面談による要望、児童の状況の把握	36名
2回	保護者会	保護者との意見交換・交流を図る	49名
3回	入会説明会	新年度学童クラブ入会対象者の説明会 新規入会者と継続入会者で日程を分けて行いました。 昨今のニーズに合わせて、最終日はZOOMを利用しオンラインにて説明会を行いました。	48名

【学童クラブ在籍児童・保護者が参加する活動】

実施月	活動	内容	参加人数
1回	館まつり出店	親子が協力し、館まつりで出店しました。	4名
中止	親子ふれあいイベント	保護者主催でのお泊り会。親子が一緒になって楽しみ、他の家族と交流する機会を設けました。	—

### (4) 学校等との連携

お便りの交換や、様々な話し合いの場を通して、学校や「放課GO→クラブあおやま」「放課GO→クラブせいなん」との協力関係を築いていきます。学童クラブの児童が個々に抱えている問題に関しては、お互いに情報交換し、多角的な視点で児童を捉えながら、速やかに解決を図っていただけるように努めました。

また、災害や不審者との遭遇などの緊急事態が起きたときの下校時には、学校と密接に連携し、安全に対処できるよう臨機に体制を整備した運営を実施しました。

## 2. 日常活動報告

来室から帰宅まで、学童クラブ室を拠点に、青山館内の各部屋で自由に過ごすほか、様々な企画に参加できるよう職員が見守りました。また、おやつタイムや帰りの会などを設けて、学童クラブで過ごす際の必要な「きまり」や生活リズムが身につくように支援します。高学年に対しては、低学年で培った学童クラブでの生活ルールやおやつなどの時間を自分で判断・行動できるよう声掛けを行いました。

## (1) 日課表

13:30~	来室 勉強タイム 自由時間
15:00	クルクルタイム (おやつ開始)
15:45	おやつ終了  順次帰宅
19:00	退室

【学校がある日の例】

8:00~	来室 勉強タイム 自由時間
12:00	昼食の準備、 お弁当 片付け・休憩
13:00	自由時間
15:00	クルクルタイム (おやつ開始)
15:45	おやつ終了 順次帰宅
19:00	退室

【学校休業日などの例】

## (2) おやつを提供

コロナ禍ということもあり、衝立を導入し、手洗いや消毒などの感染防止措置を徹底して行いました。保護者から毎月預かるおやつ代を使い、毎日午後3時から3時45分の間におやつを提供しました。栄養面・安全面に配慮し、子どもたちが適切なエネルギー補給ができるよう工夫しました。

果物等を積極的に取り入れ、スナック菓子などに偏らないメニュー作りをしています。また、肉まん等を準備する際に、美味しく提供できるよう、電子レンジではなく蒸し器を使うなど、調理・提供方法を工夫した提供を計画をしていました。

アレルギーのある子どもに対しては、保護者に状況を確認した上で、別のメニューを用意するなど、個別の対応いたしました。

また、毎週水曜日には手作りのおやつとし(おにぎり・からあげ・やきそばなど)提供を計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染症対策、および港区の指導のもと調理を伴うおやつ提供は中止いたしました。

さらに、月1回のお誕生会の日には、誕生月の児童のリクエストを伺い、子どもたちに喜ばれるよう工夫しました。

## (3) 安全の確保

保護者の協力を得ながら、出欠の把握を徹底するとともに、子どもたちに対しても、安全確保の意識が高まるよう、日常的に指導しました。

学童クラブに在籍する児童の居住地が広範囲に及ぶため、児童の帰宅時の安全を図れるよう、年間を通じて、30分おきに、職員が付添い、青山通りまでの「送り」を実施しました。

また、これを通して、通学路や下校の仕方についても指導しました。

さらに、港区学童クラブ見守りシステム事業の実施要項等にしがたい、適切に運用しました。

## V 令和2年度の事業を振り返って

### 1. プラザの運営

- ・令和2年度の目標として、旧青山児童館（直営）から赤坂子ども中高生プラザ青山館（指定管理）へと運営が変わったことから、青山館を利用される児童・保護者や地域の方々との交流を深めることを方針といたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策のため、港区指導により4月～6月までは、一般利用は休館となりました。
- ・7月からは、制限（定員制や来館利用予約等）付きの開館となりましたが、月を追うごとに来館者数が増加し、3月には開館以来最大の来館者数となりました。
- ・小学生はもとより、乳幼児・中高生の利用も増加しており、高校生世代は、令和元年度旧青山児童館の利用者数より、年間で上回る来館者数がありました。（資料参照）
- ・新規オープン施設であり、華やかな「オープニングイベント」などを開催する計画をしていましたが、行うことができず、ホームページや毎月のお知らせ等で、施設の広報に努めました。

### 2. 学童クラブの運営

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、港区の指導により4月～6月までは、利用自粛をお願いいたしました。
- ・学童クラブとして、多数イベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できないものがありました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、日々のおやつや誕生会など、学童クラブ室に子どもたちを一堂に集めることができず、学年別などで行うなどの工夫をした運営を行いました。
- ・バスや電車等公共交通機関を利用した外出行事ができなかったため、徒歩で近隣公園へ遠足をする等、工夫をした行事運営を行いました。
- ・入会説明会は、保護者からの希望を受け、オンラインにて行う等、新型コロナウイルス感染症対策対応として実施しました。初めての試みであったが、保護者の協力もありスムーズに進行することができ、好評を得ることができました。

### 3. 事業・企画の運営体制

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊を伴う行事、飲食を伴う行事、バスを利用した遠足行事、大人数を対象とした行事、他施設との連携交流行事等は、実施することができませんでした。
- ・しかしながら、緊急事態宣言が解除された後は、「できないことを探すのではなく、できることを探していこう！」を合言葉に、定員を絞る、開催の日にちを1回から複数回にする、入れ替え制をする等、工夫をしながら、青山館カリッパミニミニこどもまつり、クリスマスパーティー、クラブ活動発表会、卒業おめでとう会等を開催しました。
- ・青山館カリッパミニミニこどもまつりでは、青山館のオープニングイベントができなかったこともあり、青山館マスコット「カリッパ」のイラストが入ったオリジナルマスクを制作し、来館者に配布をしました。
- ・旧青山児童館から引き継いだ、オペレッタクラブ、ローラーホッケークラブ等も工夫をしながら講師指導の下、開催し、カリッパ伝説も複数回実施することができました。
- ・青山館として新しく実施した、ダンスクラブ、小学生や中高生の意見を聞く場「カリッパ委員会」乳幼児 年齢別グループ活動等も実施することができました。参加をされた児童及び保護者より、「このようなご時世の中、工夫をしてイベント等を開催していただけてありがたい」との感謝の言葉を頂き、職員として励みとなりました。
- ・本館との連携においては、それぞれの館の大型行事に職員を派遣する等、連携をとった事業運営を行うことができました。

## 4. 館内外で発生した事故

事故等の発生により、当館職員による適切な対応を行うことができたこともあり、苦情等の申し出はありませんでした。

また、児童等の活動による事故やケガ等が発生しないよう、施設設備の安全面の点検を定期的に行い、不具合箇所の修繕等を実施しました。今後も、より一層の安全・安心に過ごせる青山館を目指した運営を行っていきたいと考えています。

加えて、児童の遊びの中で、児童にケガが生じるようなび方等を予測した、指導や働きかけが実施できるように職員の育成についても継続して進めていきたいと考えています。

令和2年度発生した事故については、以下の通りです。

### (1) 通院を伴う事故 3件 (支所報告)

令和2年7月15日

遊戯室で自由遊び中、転倒し左腕骨折 学童クラブ児童4年男児

手術・入院をし、現在は完治している。保険適用を希望。

上記の事故を受け、職員の部屋の見守りに際し、児童の遊び方の中には、危険を伴うような行動があることを予見し、事前に指導をすること、また、遊具の危険な使い方はしないように指導をすることとした。

令和2年9月10日

屋外運動場でローラースケート中、転倒し腰部打撲 学童クラブ児童3年女児

保険適用希望なし。

上記の事故を受け、ローラースケートを行う際には、肘あて・膝あて・ヘルメットの着用を義務付けており、それらが緩んだ装着でないか等の確認をし、指導・働きかけを行うこととした。

令和2年11月18日

学校から学童クラブへの通学路で転倒、前歯の擦過傷 学童クラブ児童4年女児

保険適用希望なし。

上記の事故を受け、通学時等における安全指導を徹底することとした。

### (2) その他の事故 2件 (支所報告)

令和2年6月7日

当館が選挙会場であったが、前日の退勤時に投票室を施錠したままで退館してしまったため、選挙会場が7時の開始時間に開場することができなかった。

職員が到着し、7時15分には、開場することができた。大きな混乱はなく、選挙は実施できた。

上記の事件を受け、選挙当日の従事職員に対し、選挙に関連する部屋の鍵を事前に受け渡すこと、また、前日の退館時に、各部屋の確認を徹底すること、また、青山館からも1名選挙従事職員と同じ時間に出勤をすることとした。

令和2年12月18日

学童クラブ児童1年女児(私立学校所属)が事前の連絡がなく、朝からの学童クラブ利用のため、来館。しかしながら、早番の職員体制をとっておらず、対応ができず、当該児童は、近隣の民間保育園の協力により、当館の職員が出勤するまでの間、見守りをしていただいた。

赤坂地区総合支所管理課 白井課長、鈴木係長、館長とで、迎えにきた父親へ謝罪と説明を行った。保護者からは、特段の苦情はなかった。

事前の連絡・報告・確認を徹底、清掃業者が朝6時30分には出勤をしていることから、玄関内へ入れ、職員が出勤するまでの間、見守りを依頼することとなった。